

## 第 36 卷 PDF 読本



**内房線（蘇我～木更津～安房鴨川）**

**外房線（安房鴨川～大網～蘇我～千葉）**

**久留里線（木更津～上総亀山）**      **東金線（成東～大網）**

2024年10月31日 歩く鉄道作家 樫原 勉

<目次>

はじめに

第1章 内房線（蘇我～安房鴨川） . . . . . 5

    内房線（和田浦～九重） . . . . . 18

第2章 外房線（安房鴨川～大網） . . . . . 25

第3章 外房線（大網～蘇我～千葉） . . . . . 38

    東金線（成東～大網）

第4章 久留里線（上総亀山～木更津） . . . . . 43

内房線：119.4 km

外房線：93.3 km

久留里線：35.4 km

東金線：15.2 km

総営業キロ 263.3 km

## はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 31 弾目として、総武本線や京葉線に接続する、千葉県を走る、内房線・外房線・久留里線・東金線の旅（総営業キロ 263.3 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 45 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

(2001 年 7 月～2021 年 5 月で踏破)

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

## <ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅”PDF読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次のPDF読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第18編（日本横断歩き鉄の旅）

### 内房線・外房線・久留里線



外房線  
御宿境界

2021年8月1日 歩く鉄道作家 樫原 勉

第19編（日本横断歩き鉄の旅）

### 成田線・鹿島線・東金線



成田山新勝寺

2021年6月14日 樫原 勉

## 第1章 内房線

### 第1節 7月20日(金): 安房鴨川～館山 晴れ

安房鴨川(10:48)～大海～江見(12:40)～和田浦(11:04)～南三原(13:06)～館山(18:40)

内房線の第1回目は、平成13年7月20日(金)海の日となった。この日、5時前に起き、南林間5時30分の始発で新宿(6時15分着)に行き、新宿よりJRで千葉に向う。千葉駅着は7時33分となった。本来ならば千葉駅(8時6分発)から館山行きの電車に乗るところ、7時40分台の君津行きの電車に乗る。千葉駅構内にあるコンビニでむすび等を買って旅行気分を楽しむ。君津で30分近く待たされ、館山行きに乗る。君津駅で待ち時間を利用して記念撮影する。この写真はタイムリーな写真となった。



※安房鴨川駅



※大海駅、大海駅近郊の海岸

なぜなら、時間の都合で君津駅はショートカットを余儀なくされたからである。館山駅には10時6分に着き、3分位の待ち時間で安房鴨川行きに乗り換える。安房鴨川には10時

48分に到着する。浅草橋から2200円位の交通費を要した。これより内房線への走破挑戦となる。海の日であったこともあり、海と空はブルー一色であった。駅を降りた瞬間暑い日差しが差し込んで来た。それが、私の闘争心を引き出してくれた。

電車の窓から千葉から安房鴨川までの内房線の地形を見て、ウォーキング攻略方法を考える。それから同時に攻略日数と始点と終点をどこにするかを考えながら。交通費が結構かかるので効率的な戦略が要求され、慎重さを掻き立てたのかも知れない。鴨川から館山までは、これまで歩いたコースとよく似ている感じであった。



※江見駅、和田浦駅

館山から五井くらいまでにかけて、日本昔話（TBS テレビ人気アニメ）に出てくるような山が沢山あることに驚いた。五井から千葉にかけては、千葉平原が続く地形である。更に、内房線は海岸線に沿った国道・県道が多いという印象であった。千葉から君津までは複線であるが、君津以降は単線であることも確認する。結構大変なシリーズに挑戦したものだと思自問自答したが、一方では、走破する目標が高い分感激もひとしおであると思えた。



※南三原駅、館山駅

第1歩目は、海岸線が始まる太海を目指した。太海で海水に手で触れた後、石を採集した。海の日であったこと、夏休みの始まりでもあり、小学生対象の臨海学校もいくつか目

にした。暑い日差しに加え、3連休初日ということもあり盛況な海水浴場となっていた。途中12時40分頃、江見の近郊のラーメン喫茶「マレー」で暑いラーメンを食べる。

35℃位くらいあったこともあり、汗が一気に吹き出してきた。この時ほど冷水を美味しく感じたことはない。30分位休息をとってから潮騒が漂う江見、和田浦の真夏の海岸を歩く。

南三原から千倉経由で行くか若干ショートカットして館山に向うかを考え、時間の都合から千歳と千倉経由は取り止め国道128号を歩くことにした。南三原から館山までは八高線と同じ雰囲気の中越えとなった。途中風車のある丸山町を通過した。意外に館山までは距離があった。館山着は18時40分頃だった。予定通り18時44分の館山発に乗り、自宅には23時15分頃着き、33.5Km走破となった長い1日は終わった。万歩計では61,203歩をマークしていた。

## 第2節 8月4日(土): 館山～竹岡 曇り

館山(10:20)～那古船形～富浦～岩井～安房勝山(15:10)～保田～浜金谷(17:00)～竹岡(17:50)



※館山駅、那古船形駅

第2回目は、小湊沢への旅行が入ったため1週間遅れの2001年8月4日(土)となった。この日も前回と同じ南林間5時30分の始発で館山に向った。館山には10時20分頃着いた。この日は曇りで歩き易かった。館山の海水浴場の前と崖の観音で記念写真を撮り、那古船形、菊人形で有名な富浦を経由して岩井駅の近くの「しんべい」で昼食として天井をとる。今回のシリーズで後悔しているひとつは、辛抱がたらず、食欲をそそぐ店をことごとく外したことである。今回ももう少し行ったところに内房線ならではの店があった。山城が中

腹に見える安房勝山には 15 時 10 分頃通り過ぎる。日本昔話にでてくるような団子山を 10 回位山越えて、久里浜とフェリーで結ぶ浜金谷に着く。浜金谷の近郊は断崖が沢山あり、多数の釣り客がいた。海の反対側にはユニークな形をした鋸山が見えた。鋸山の上る有料道路があった・。



※富浦駅、岩井駅



※安房勝山駅、 20160306（日）家内と安房勝山へ一泊二日旅行

思えば、館山から浜金谷にかけて、山越えは歩道がないトンネルの通過が必要で、とても自動車が怖かった。長いところは 200m 位のトンネルもあった。浜金谷駅には 17 時頃着いた。この近郊で民家の屋根に「かもめ」が 20 羽位とまっている光景を見つけた。このシリーズは「からす」を余り見かけなかった。電車も 5 分位で千葉行きが来る時刻であったのでここで打ち切ろうと思ったが、次回以降のウォーキングを考慮し、後 1 時間程延長して竹岡、上総湊を目指した。何とか当初の目標の上総湊まで歩こうと思ったが、時間と疲労の関係から竹岡駅で打ち切ることにした。竹岡に入ると「ようこそ竹岡へ」という看板があった通り、竹岡以降はトンネルの中が車道と歩道が分離されており歩きやすかった。館山駅から竹岡駅までの営業距離は 25.7Km、万歩計は 57,112 歩を記録した。竹岡駅には 18 時前に着き、竹岡発 18 時 15 分の電車で家路に向う。





※保田駅、保田海岸（2010年頃）フコク生命時代の友人からの寄贈



※浜金谷駅、竹岡駅

## <家内との旅>フコクしんらい生命の定年を機に

平成28年3月5日(日)～6日(月)、内房線の安房勝山にある”お宿ひるた”に家内と1泊し、海の幸を存分に味わう。特に新鮮な刺身の舟盛は最高であった。やっと数年前の思いが実現でき、この宿をご紹介頂いた友人に感謝あるのみ。民宿とはいえ、料理や浴槽もさることながら、種々の面で気配りがなされ、料金の割には家内共々大満足。あたかも箱根の一流ホテルにでも宿泊しているかのような錯覚もした。



※安房勝山駅



ひるた



素晴らしい料理



往路は新宿から千葉までは総武線を活用して、千葉から安房勝山までは内房線を乗り継いで現地に向かう。復路はひるたから 6.8km先の浜金谷港まで民宿のスタッフの方に送ってもらい、そこから東京湾フェリーで久里浜港へ。船旅の所要時間は約 40 分。久里浜港からは京急バスと京急を乗り継いで、横浜駅経由で自宅へ。船の効果により往路に比べ 1 時間半位短縮できる。民宿のスタッフに感謝あるのみ。ただ残念であったことは、生憎の雨で浜金谷の界限にある鋸山への散策ができなかったこと…。次回是非達成したいものだ。



※浜金谷港にて(ひるたの送迎車)、東京湾フェリーの船内

内房線(安房鴨川～千葉)は今から約15年前(平成 13 年 7 月から 8 月にかけて)、都合4回に分けて鉄道つたい歩きをした。すなわち、①安房鴨川～館山②館山～竹岡③竹岡～木更津④木更津～千葉の段取りで。安房勝山は館山と竹岡の間にあった。千葉から懐かしい駅名が次々と登場し、15年前苦

労して踏破した思い出が昨日のように思い出されて来た。懐かしいと同時に感無量。今回の旅は、人生のこだわり、お客様への対応などなど色々な面で考えさせられる充実した2日間であった。天や神に感謝あるのみ。



※久里浜港

### 第3節 8月11日(土): 竹岡～木更津 曇り一時雨

竹岡(9:30)～上総湊～佐貫町(13:20)～大貫～青堀(17:10)～君津～木更津(19:50)

第3回目は、竹岡から木更津までの営業距離 28.9Km で、2001年8月11日(土)行なった。この日は南林間を始発の次の5時53分で竹岡駅に向う。この日は、途中木更津駅で大雨に出くわした。駅案内放送で「本日久留里線は大雨のため不通となっています」もあり、何回も引き返そうと思ったが、折角朝早く出て来たことだし、とにかく竹岡まで行って見ようと考えた。



※竹岡駅



※上総湊駅、上総湊駅への路



※佐貫町駅、大貫駅への路

竹岡駅には9時30分頃到着した。竹岡駅では曇り空ではあったが運良く雨は降っていなかった。でも、30分位して雨に出くわした。雨の中、上総湊を通過する。上総湊を過ぎてまもなく右側にマザー牧場の案内看板を見つける。佐貫町を経過し、13時20分頃大貫の近郊の「平兵衛」でそば定食を食べる。大貫は釣りで有名であることもあり、海岸線は複雑な地形をしていた。大貫から内房線を少しはずれて、富津岬と富津公園に向うことにした。



※大貫駅、富津公園

富津岬の途中、富津公園では捨て犬がたくさんおり悲しそうな目で私について来た。富津岬を 16 時過ぎにたち、国道 16 号線を通って青堀経由で木更津に向う。富津公園を出ると木更津行きのバスターミナルが目についた。国道 16 号線が富津市からスタートしているとは知らなかった。新しい発見であった。青堀駅には 17 時過ぎに着いた。



※青堀駅、君津駅

本来ならばここで本日は終わりにすべきところ、更に次回で内房線を走破しようと思い、多少無理だと思ったが当初の通り木更津の目標に固執した。夜道、巨人ヤクルト戦（マルちゃんと三浦が活躍した試合）を聞きながら 16 号線を主として歩く。何回も木更津行きのバスが追い越して行った。途中 2～3 箇所間違いやすい箇所があったが、路線バスが富津公園からの案内人となってくれ、不安を払拭してくれた。だだ、夜も深まりつつあるので確認も込め通行人に一度聞いた。木更津には 20 時前に着いた。木更津駅構内のコンビニで弁当を買って電車に乗り込み、非常に充実した気分で 20 時過ぎの電車で家路に向う。自宅には 23 時 40 分頃到着、万歩計は 75,177 歩となっていた。



※木更津駅

#### 第4節 8月13日(月): 木更津～千葉 曇り/晴れ

木更津(8:30)～巖根～袖ヶ浦～長浦～姉ヶ崎～五井～八幡宿～浜野～蘇我(17時頃)～本千葉～千葉(18時過ぎ)

※蘇我～千葉は外房線。

内房線の総仕上げは、木更津から千葉までの営業距離 35.1Km に対し、盆休みを利用して、2001年8月13日(月)実施した。この日は盆で本来ならば田舎に帰り先祖や3年前に他界した弟の墓参りすべきであり、後ろ髪をひかれてのウォーキングとなった。この日も営業距離が長かったため、南林間5時30分の始発で木更津に向かい、8時半からのウォーキングとなった。天候は曇りのち晴れで歩き易かったが、お盆であったこともあり、夏の終わりがもうすぐそこに来ていてむなしい感があった。



※木更津駅、巖根駅



※袖ヶ浦駅。袖ヶ浦駅界隈



※長浦駅、姉ヶ崎駅

巖根近郊は蓮根畑がたくさんあり、白鷺がやたらに多かった。袖ヶ浦、長浦、姉ヶ崎では、水にちなんだ地名にもかかわらず、残念ながら海を見ることができず。この地域は京葉工場地帯だけあり工場が沢山見受けられた。これまでの内房線の旅とは異なる感じであった。



※五井駅、小湊鉄道（五井駅）

13時過ぎに姉ヶ崎着き、駅前で遅い昼食を食べた。五井近郊で河川が複雑に入り組んでいて方向性を誤った。五井はこれまでの内房線の中では賑やかな町並みであった。五井か



ら八幡宿は並木通りがあり歩き易かった。浜野、蘇我、本千葉を経由して18時過ぎに千葉に着いた。蘇我には、17時頃であったこともあり墓参りの客が多かった。千葉に着いた時、内房線123.1Kmを走破した感激で本日のハードな歩きは吹っ飛んだ。自宅で万歩計は73,489歩をマークしていた。本日で安房鴨川から八王子の206.7Kmが繋がった。



※浜野駅、蘇我駅

このシリーズを通じて、富、浦および津がつく駅名・地名が3つずつあることも発見した。

- ① 富（富山、富浦、富津） ② 浦（和田浦、長浦、袖ヶ浦） ③ 津（君津、富津、木更津）



※本千葉駅、千葉駅